(Windows 10 Version)

Excel-2019-Level 05 - 上級編 -





第 01 章: ユーザー定義の表示形式:1(数値)	5
01 章 01 節… 数値の基本表示形式・「0」の利用	5
01 章 02 節… 桁区切りの表示形式	6
01 章 03 節… 小数点の桁数	7
01 章 04 節… パーセントの表示形式	8
01 章 05 節… 強制桁表示	9
01 章 06 節… まとめ	
01 章 07 節… 練習問題	11
第 02 章: ユーザー定義の表示形式:2(日付)	13
02章 01節・・・文字列の表示形式	13
02章 02節… 日付の表示形式	14
02章 03 節… 元号と和暦年の書式記号	15
02章 04 節… 曜日の書式記号	
02 章 05 節… セルにコメント・メモを入れる	
02 章 06 節… コメントを印刷対象とする	
02 章 07 節… コメントの削除	
02章 08 節… まとめ	
02章 09節… 練習問題	
02 章 10 節… [参考資料]:表示形式記号一覧表	
第 03 章: ユーザー定義の表示形式:3(文字と時刻)	
03 章 01 節… 文字データの作成.「」引用符の利用	
03 章 02 節… 文字データ入力時に先に表示形式を設定しておく	
03 章 03 節… 時刻の表示形式 1・時 : 分	
03 章 04 節… 時刻の表示形式 2・時 : 分 : 秒	
03 章 05 節… 時刻のユーザー定義表示形式・分 : 秒	
03 章 06 節… 24 時間・60 分・60 秒を超える表示	
03 章 07 節… まとめ	
03 章 08 節… 練習問題	
第 04 章: 複数の論理式-AND 関数・OR 関数	
04 章 01 節… 論理式と IF 関数の復習と確認	
04 章 02 節… AND 関数の使用	
04 章 03 節… OR 関数の利用	41
04 章 04 節… IF 関数の引数[論理式]に AND 関数を採用する	
04 章 05 節… IF 関数の引数[論理式]に OR 関数を採用する	
04 章 06 節… 関数まとめ	
04 章 07 節… 練習問題・論理式	
04 章 08 節… 練習問題・I 関数との組み合わせ	50
第 05 章: 統合	51
05 章 01 節… 統合の準備・統合とは?	51
05 章 02 節… 統合の操作	51
05 章 03 節… その他の集計(平均)	53
05 章 04 節… 自動リンクする統合結果表の作成	
05 章 05 節… まとめ	

05章 06節… 練習問題	56
05章 07節… 練習問題	58
第 06 章: 高度なグラフとその調整	59
06 章 01 節… 日付軸をテキスト軸に	59
06 章 02 節… 降下線/縦軸目盛線と軸位置	61
06 章 03 節… 多項式近似曲線とオプション・折れ線グラフのスムージング	63
06 章 04 節… 縦棒グラフにおける[要素の間隔][系列の重なり]	64
06 章 05 節… 複合グラフと第 2 軸の表示	67
06章 06節… 散布図	70
06 章 07 節… R-2 乗値(あーるじじょうち)と数式を表示して相関性を調べる	71
06 章 08 節… まとめ	72
06 章 09 節… 練習問題	73
06 章 10 節… 練習問題	76
第 07 章: COUNTIF 関数・2 [あいまい検索]	79
07 章 01 節… 引数がセル名である際の注意	79
07 章 02 節… [検索対称]にワイルドカード(*)を使う・~で始まる/終わる	
07 章 03 節… [検索対称]に以上・以下を使う(>=/<=)	83
07 章 04 節… あいまい検索とセル参照の同時利用	
07 章 05 節… AVERAGEIF 関数であいまい検索	
07 章 06 節… まとめ	
07章 07節… 練習問題	
第 08 章: ピボットテーブル【Pivot table】2	90
08 章 01 節… 値フィールドの追加	90
08 章 02 節… アイテムの入れ替えと並べ替え	
08 章 03 節… 分析元範囲・データソースの変更	
08 章 04 節… ピボットテーブルのレイアウトを調整する	
08 章 05 節… 計算の種類を変更する(%・割合であらわす)	
08 章 06 節… 詳細の表示	
08 章 07 節… 抽出状態からの分析	
08 章 08 節… ページを分ける	
08 章 09 節… [スライサーの挿入]を利用してフィルターをする	
08 章 10 節… [タイムライン]で日付・時刻のフィルターをする	
08 章 11 節… まとめ	
08 章 12 節… 練習問題	
08 章 13 節… 練習問題	
第 09 章: 日付と時刻の処理	115
09 章 01 節… 【TODAY】関数と【NOW】関数を使う	
09 章 02 節… TODAY・NOW の比較と研究	
09 章 03 節… 日付データを分解する/【YEAR】 関数/西暦の取得	
09 章 04 節… 日付データを分解する/【MONTH・DAY】関数/月・日の取得	
09 章 05 節… 【DATE】関数の原理・分解した日付を再結合する	
09 章 06 節… DATE 関数の活用方法	
09 章 07 節… DATE 関数を使わずに「日」の計算をする	

09章08節…	・日付・時刻・数値の研究・表示形式(参考学習)	
09章09節…	・時刻の分解・【HOUR/MINUTE/SECOND】 <時/分/秒>	
09章10節…	 【TIME】関数の活用方法 	
09章11節…	・セル参照を使って時間計算させてみる	
09章12節…	・その他の時刻の計算方法	
09章13節…	・まとめ	
09章14節…	・練習問題	
第10章:フィル:	ターオプション	
10 章 01 節…	・標準のフィルターの復習	
10 章 02 節…	・OR 条件のフィルターオプションの利用とワイルドカード(*)	
10 章 03 節…	・抽出条件を「~~で始まる」の形式で指定する	
10 章 04 節…	・完全一致検索	
10 章 05 節…	・AND 条件のフィルターオプション	
10 章 06 節…	・絞り込み条件(AND 条件)の追加	
10 章 07 節…	、 ・ 不等号の使用	
10 章 08 節…	・~を含む	
10 章 09 節…	・ OR 条件と AND 条件の組み合わせ	
10章10節…	・まとめ	
10 章 11 節…	・練習問題	
10章12節…	・ 練習問題	



...

...

→操作の説明

→補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- ■本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には[™],®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- ■本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかな る方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書に よる許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材は Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version №:excel-2019-05-上級 1-210903
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町118-2中山NSビル6F

- ◆ 発行人 三橋信彦
- ◆ 定価 一円

第01章:ユーザー定義の表示形式:1(数値)

01章01節…数値の基本表示形式・「0」の利用

(01)	(01) 以下のような表を作成しましょう。											
	А	В	С	D	E	F	G					
1						-						
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)						
3		1428	11250	10920								
4		357	815	906								
5		4168	15095	13225								
6		98	0	5295								
7		515	9375	10830								
8												
9							•					

(02) B 列に入力されている数値の見た目(表示形式)を「1428 番」のようにするつもりです。 数値をオリジナル・独自の見た目(表示形式)にする場合には[セルの書式設定]ダイアログボ

ックスの【表示形式】タブを使います。

セル B3:B8 を選択して[数値の書式・その他の表示形式]を選択するか、{Ctrl}+{1}キーを 押してください。[セルの書式設定]ダイアログボックスが表示されます。

5.0	∌-, ≑						Book	1 - E>	cel			
ファイルホー	ム挿入	ページレイア	⇒ {C	trl}+{	1}でも	可,	についたい作業を	入力して	ください			
*	游ゴシック		• 11 • A		≡ ॐ *	り折り返して全体	を表示する		[a set
貼り付け 💆	В <i>I</i> <u>U</u>	• 🖽 •	<u>⊳ - A</u> -	≝ - ≡ ≡	≡ ≝ ≝ ≣	こ セルを結合して ロ	中央揃え 🔻	(L) 123	標準 特定の形式な	, 1	ニテーブルとして 書式設定 ▼	セルの スタイル ▼
クリップボード 54		フォント		Es l	百己语	Rim	G.	10	数値		スタイル	
В3	• : ×	1 9	2.「数	値の書き	式・その)他の君	专示形	式]	428			
Α	В							~ ']	1,428		L	M
1									会計			
2	店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				¥1,428			
3	1428	11250	10920						短い日付形式 1903/11/28			
4	357	815	906						長い日付形式			
5	4168	15095	13225						1903年11月	8日		
6	98	_ 0	5005						時刻			
7	515	9375	11.	セルB	3:B8 ?	を選択		Y	0:00:00			
8								%	パーセンテージ			
9								/0	142800%			
10								1/2	か設 1428	L		
11								2				
12								10 ²	1.E+03	-		
13								F	の他の表示形式(<u>M</u>)		
14											-	



(03) オリジナルの表示形式をセットする際は[セルの書式設定]ダイアログボックス【表示形式】 タブの[ユーザー定義]を選択します。そして[種類]欄に設定したい表示形式を登録するので す。「0"番"」と入力してください。記号は必ず「半角」とします。セルに入力されていた 数値を表示させる位置を「0」で指定します。「0」の前後に表示させたい文字を「"」で囲 んで指定します。「0"番"」とすれば「数値(0)のあとに『番』と表示させる」表示形式にな ります。設定後は OK してください。



(04) こうすると B 列の数値の見た目が「数値+番」となります。

数式バーで確認できる格納データは数値のままです。

BB	3 -	÷×	$\sqrt{-f_x}$	1428						
	А	В	С	D	E	F	G	Н	I.	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月 <mark>比(</mark> %)				
3		1428番	11250	10920						
4		357番	815	906						
5		4168番	15095	13225						
6		98番	0	5295						
7		515番	9375	10830						
8										
9			1							
10										

01章02節…桁区切りの表示形式

(01) C 列と D 列の数値を「11,250 円」のような表示形式にしてみます。 桁区切りカンマなしならば「0"円"」と指定しますが今回は桁区切りカンマありです。 選択して[セルの書式設定]ダイアログボックスの【表示形式】タブを出してください。

C3		: ×	√ f _x	11250										
	А	В	С	D	Е	F	G	н	1	J				
1											-			
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)								
3		1428番	11250	10920										
4		357番	815	906		0.0.			17[410	ਰਾਜ਼ੀਤੀ	≥1 ľ ≠	==w≠1	
5		4168番	15095	13225		- US.	Do a	进扒		2/1/0	ノ 音 丸 設 ん	Ej∎⊼	小形式	
6		98番	0	5295										
7		515番	9375	10830							1			
8														
0														



(02) 桁区切りカンマありの場合には「0」の代わりに「#,##0」を使います。記号には半角文 字を使います。[ユーザー定義]の[種類]に「#,##0"円"」を指定し OK します。



(03)「0」の代わりに「#,##0」を使うと桁区切りカンマを表示させることができるのです。

C3	Ť	:	\times	$\checkmark f_x$	11250						
	А	В		С	D	E	F	G	Н	1	J
1											
2		店舗番	華	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月 <mark>比(%</mark>)				
3		142	28番	11,250円	10,920円						
4		35	57番	815円	906円						
5		416	58番	15,095円	13,225円						
6		9	98番	0円	5,295円						
7		51	15番	9,375円	10,830円						
8											
9											

01章03節…小数点の桁数

(01) E 列には[前月比]を表示させます(今月売上÷前月売上)。 セル E3 に「=D3/C3」を作成してください。

C3		: x	✓ f _x	=D3/C3	3								
	А	В	С	D	E	F	G	н	1	J			
1													
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)							
3		1428番	11,250円	10,920F	=D3/C3								
4		357番	815円	906円		K							
5		4168番	15,095円	13,225円				,	У. П. Г.	DO		20 11-12	
6		98番	0円	5,295円			セノ	νE3	に「	=D3/	C3	を作成	
7		515番	9,375円	10,830円							1		
8													
9													

(02) セル E3 の計算式を E8 までコピーします。続けてこの前月比を「0.9706 倍」のような 表示形式にします。「小数点 4 桁」までの表示にするのです。

選択して[セルの書式設定]ダイアログの【表示形式】タブを出してください。

			_			_					_
E3	-	÷	$\checkmark f_x$	=D3/C	3						
	А	В	С	D	E	F	G	н	1	J	
1											
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)					
3		1428番	11,250円	10,920F	0.970666667		セル	$\nu E3$	の計算	寛式な	・E8 までコピーしてからセル
4		357番	815円	906F	1.111656442		C/1		•••	7-10	
5		4168番	15,095円	13,225F	0.87611792		E3:	:E8 を	ら選択	!して[セルの書式設定]【表示形式】
6		98番	0円	5,295F	#DIV/0!						
7		515番	9,375円	10,830F	1.1552]
8					#DIV/0!						
9											



(03) 小数点 4 桁まで表示させたい場合には「0」を「0.0000」とします。
 つまり[種類]を「0.0000"倍"」とするのです。小数点以下の桁を表示させたい際には「0」のあとに「.」を入れ、そのあとに表示させたい桁数分だけ「0」を追加するのです。

設定後は OK しましょう。

セルの書式設定		?	×
表示形式 配置	フォント 罫線 塗りつぶし 保護		
分類(<u>C</u>): 標準 数値	-サンプル	[種類]を「0.	0000"倍"」に
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	種類(<u>T</u>): 0.0000"倍"		
パーセンテージ 分数 指数 文字列 ユーザー定義	G/標準 0 0.00 #,##0.00 - *#,##0_;_*-#,##0_;_*" - *#,##0_;_*-#,##0.00 _¥*#,##0_;_¥*-#,##0_;_ ¥*#,##0.00; ;¥*-#,##0.0;_	'-"_;_@_ ;*'-"??_;_@_ ¥*"-"_;_@_ 0 : ¥*"-?? : @	
~	#,##0;-#,##0 #,##0;[赤]-#,##0 #,##0.00;-#,##0.00)
基になる組み込みの表示	形式を選択し、新しい表示形式を入力して	ください。	

(04) 小数点4桁まで表示させる設定が完了しました。

E3		÷×	$\checkmark f_x$	=D3/C3	3					
	А	В	С	D	E	F	G	Н	1	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍					
4		357番	815円	906円	1.1117倍					
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍					
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!					
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍					
8					#DIV/0!					
9										

01章04節…パーセントの表示形式

(01) F列にはE列と同じ式(今月売上÷前月売上)を設定してください。 ここでF列の小数倍率を「約97.07%」のような形式で表示させます。 選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

F3	•	÷×	$\checkmark f_x$	=D3/C3	1						
	А	В	С	D	Е	F	G	н	1	J	
1											
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)					
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	0.970666667	\leftarrow				
4		357番	815円	906円	1.1117倍	1.111656442		F3	S:F8	1C 12	ラ月売上÷削月売上」を作成して
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	0.87611792		よ、	212	າ∟≢	▶→弐☆】【★二比→】
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!		ינע	り[セ,	ルの音	青式設正]【衣亦形式】
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	1.1552					
8					#DIV/0!	#DIV/0!					
9											
10											



(02) パーセント表示にする場合には「0%」を使います。 小数点2桁まで表示させるならば「0.00%」となります。 [ユーザー定義]の[種類]に「"約"0.00%」と指定し OK してください。 セルの書式設定 ? \times 表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護 [ユーザー定義]の[種類]に「"約"0.00%」と指定 分類(<u>C</u>): 標進 サンプル 優美 数値 通貨 約97.07% 会計日付 種類(<u>T</u>): "約"0.00% にう 時刻 パーセンテージ 分数 G/標準 「%」形式にすると通常の100倍で 0 活数 文字列 0.00 表記される #,##0 #,##0.00 - *#,##0_;_*-#,##0_;_*"."_;@_ - *#,##0.00_;_*-#,##0.00_;_*"."??_;@_ - ¥* #,##0_;_ ¥* -#,##0_; _¥*"."_;@_ - ¥* #,##0:#, ##0 #,##0;fm]-#,##0 #,##0;fm]-#,##0 #,##0(01::# ##0 00 ユーザー定義 #,##0.00;-#,##0.00

削除(<u>D</u>)

キャンセル

OK

(03) F 列の数値に「約」が付き、「%」形式で表示されました(小数点3桁以下が非表示に)。

F3	3 -	: ×	$\checkmark f_x$	=D3/C3	3					
	А	В	С	D	E	F	G	н	I.	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%				
4		357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%				
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	約87.61%				
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!				
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%				
8					#DIV/0!	#DIV/0!				
9										

01章05節…強制桁表示

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

(01) B 列には店舗番号が入力されています。しかし桁が揃っていません。 これらの番号を無理やり「4 桁」で表示させてみます。

この設定もオリジナルの表示形式を作成することで可能になるのです。

B3	-	÷×	√ f _x	1428							
	А	В	С	D	E	F	G	н	1	J	
1											
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)					
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%					
4		357番	815円	906円	1 1117/主	逾511111704					
5		4168番	15,09	13,225	B3·B8	くを選れ	尺して	「ヤル	/の書	式設定	3]【表示形式】
6		98番	0円	5,295	DU.DU			·[C/*	•/ 🖬		
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%					
8					#DIV/0!	#DIV/0!					
9											
10											

https://www.mytry.jp/



(02) [ユーザー定義]の[種類]欄に、絶対に表示させたい桁の分だけ「0」を入力します。 今回は絶対に4桁は表示させる設定をするので「0000"番"」とし OK します。

セルの書式設定	? ×	
表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護		
分類(<u>C</u>):		
標準 数値 通貨 会計 - サンブル 1428番 (エン)	[ユーザー定	義]の[種類]欄に「0000"番"」を設定
日付 時刻 (型現(1):		
N メジェン (パーセンテージ 分数 指数 文字列 この他 ユーザー定義 () () () () () () () () () ()	~	
~	削除(<u>D</u>)	
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
	OK キャンセル	

(03) B 列においては、3 桁以下の数値も必ず4 桁まで表示されるようになりました。

B3	3 -	: ×	$\checkmark f_x$	1428						
	А	В	С	D	E	F	G	Н	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%				
4		0357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%				
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	約87.61%				
6		0098番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!				
7		0515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%				
8					#DIV/0!	#DIV/0!				
9										
10										

^{(04) 8} 行目に数値を入力して動作を確認しましょう。 完成後はこのファイルを閉じます(必要に応じて保存)。

E8		÷÷×	$\checkmark f_x$	=D8/C8	3			
	А	В	С	D	E	F	G	
1								
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)		
3		1428番	11,250円	10,920円	0. 9707倍	約97.07%	+11	レRQ·DQ に数値を入力・テスト
4		0357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%	L/1	
5		4168番	15,095円	13,225円	<mark>0.8761倍</mark>	約87.61%	(例)	\cdot 7 • 14315 • 13570)
6		0098番	0円	5,295円	#DIV/0!	#Drv/0!	(123	.1 11010 10010)
7		0515番	9,375円	10,830円	1/1552倍	約115.52%		
8		0007番	14,315円	13,570円	0.9480倍	約94.80%		
9								

01章06節…まとめ

- ◆ ユーザー定義の表示形式を作成する際には数値の位置を半角の「0」で指定します。
- ◆ 桁区切りカンマ入りの数値を扱う際には「#,##0」を用います。
- ◆ 文字の位置は半角の「"」で囲み指定します。「1525」を「1525 円」とするならば「0"円"」と指定するのです。
- ◆ 小数点以下の桁数を表示させる際には「.」のあとに表示させたいだけゼロ・0を用います。小数点2桁表示ならば「0.00」です。
- ◆「000」のように0を複数回使うと、その桁数分だけ必ず表示されるようになります。
- ◆「%」を表示形式に用いれば、数値部分は 100 倍された状態で表示されます。



01章07節…練習問題

(01) 次のような計算表を作成しましょう。赤字部分は計算で表示させます。 下書き入力時には「人」や「円」などの単位は入力しません。

	А	В	С	D	E	F
1						
2		支店番号	従業員数	売上	一人あたり売上	
З		016	8人	850,000円	106,250円	
4		820	8人	630,000円	78,750円	
5		007	15人	1,080,000円	72,000円	
6		022	5人	450,000円	90,000円	
7						

 ⁽⁰²⁾ 次のような計算表を作成しましょう。理想体重は「身長×身長×20÷10000」です。
 BMI(体格指数)は「体重÷身長÷身長×10000」です。

	А	В	С	D	E	F	G	Н
1								_
2		氏名	身長	体重	理想体重	理想体重との差	BMI	
3		井山	155.5cm	42.0kg	48.4kg	-6.4kg	Pt:17.37	
4		青木	150.0cm	45.0kg	45.0kg	0.0kg	Pt:20.00	
5		佐々木	178.0cm	66.5kg	63.4kg	3.1kg	Pt:20.99	
6		芝原	161.5cm	50.5kg	52.2kg	-1.7kg	Pt:19.36	
7								-

(03) 左のように表を作成し、完成後は表示形式を設定することで右のように変更しましょう。 なお半角ハイフン(-)など、半角演算記号(「+」「-」「/」とカッコ「(」「)」)は二重引用符 で囲む必要はありません。

(郵便番号の解: "〒"000-0000) (電話番号10桁の解: 000-000-0000)

	А	В	С	D	E
1					_
2		氏名	郵便番号	電話番号	
3		達川	2440003	904842886	l
4		君島	640821	706507911	
5		向井	1450001	806533531	
6					-

		$\frac{1}{2}$	}		
	А	В	С	D	Ε
1					
2		氏名	郵便番号	電話番号	
3		達川	₹244-0003	090-484-2886	
4		君島	〒064-0821	070-650-7911	
5		向井	〒145-0001	080-653-3531	
6					-

(04) 次のような計算表を作成しましょう(青字は数値セル、赤字は計算セル)。割引率のセル(D10) は変更できるようにします。E10の計算式にはD10の数値を使用するのです。完成した ら数量と割引率を変更してみましょう(計算式を完成させてから単位や表示形式を設定した 方がわかりやすい)。※割引額の端数は切り上げしている(ROUNDUPを使用)

	Α	В		С		D	E	F	
1		•	•					<u> </u>	
2	1	商品名	ケー	·ス単価		数量	金額		
3	1	みかん		3, 200円	ケ	ース数 8	25, 600F	円	
4	1	りんご		980円	ケ	ース数 7	6, 860F	- 1	
5	1	イチゴ		1,230円	ケ	-ス数 12	14, 760F	<u> </u>	
6		ぶどう		1,640円	ケ	ース数 8	13, 120F	<u> </u>	
7								-	
8									
9						小計	60, 340F	<u> </u>	
10		JL	_			割引率15%	割引額 9,051F	円	
11	1	\sim			お	支払金額	51, 289F	- 5	
12	1	•						-	
	А	В		С		D	E	F	
1									
2	1	商品名	ケー	·ス単価		数量	金額		
3	1	みかん		3, 200円	ケ・	-ス数 10	32, 000F	<u> </u>	
4	1	りんご		980円	ケ	ース数 4	3, 920F	ቻ	
5	1	イチゴ		1, 230円	ケ	ース数 5	6, 150F	ቻ	
6		ぶどう		1,640円	ケ	-ス数 11	18, 040F	ዓ	
7								_	
8									
9						小計	60, 110F	ቻ]	
10						割引率8%	割引額 4,809F	円	
11					お	支払金額	55, 301F	ዓ	
12				•				-	
(05)) 汐	てのよう	な計	算表を作	乍成	しましょ	う。		
	A	В		C		D	E	F	(
1									1
2				走行距	離	稼働⊟数	1日あたり距離	使用燃料	10あたり
3	1	レンタカ	J — 1	3,87	5km	14日	約 277km	4820	
4	1	レンタカ	J — 2	74	9km	8日	約 94km	620	ź
5	1	レンタカ	J — 3	46,87	9km	450日	約 104km	3,346ℓ	ź

レンタカー4

6 7

4,531km

59日

約 77km

683l



Н

約 8.04km 約 12.08km 約 14.01km

約 6.63km

第02章:ユーザー定義の表示形式:2(日付)

02章01節…文字列の表示形式

(01) 以下のような表を作成しましょう。

	А	В	С	D
1		-		
2		名前	誕生日	
З		池田	1977/5/8	
4		安川	1993/12/31	
5		沢	2001/4/8	
6		野々村	2019/10/4	
7		木村	1965/1/24	
8				
9				

(02) [名前]が入力済みである B 列の各文字データのあとに、「様」を追加した状態で表示するよう設定してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

B 3		r : × √	<i>f</i> * 池田						
	А	В	С	D	E	F	G		
1									
2		名前	誕生日	_					
3		池田	1977/5/8	R	2.B8	た躍	圯门	71	わルの書式設定]【表示形式】
4		安川	19.3/12/31		J.D0	と思	110	\mathcal{L}	
5		沢	2001/4/8				1	I	
6		野々村	2019/10/4		{Ctr	`]}+{	1]キ・	د_	や、「数値の書式・その他の表示形式]を
7		木村	1965/1/24		100	-J (- I		
8					使う				
9									

(03) 数字の位置は「0」や「#」で指定しましたが、文字の位置は半角の「@」で指定します。 【表示形式】タブの[ユーザー定義][種類]より表示形式を「@"様"」としましょう。



02章02節…日付の表示形式

(01) C 列の日付データは、1 桁と2 桁の月・日が混ざっているので揃っていません。 次は「1977/05/08」のように、9 以下(1 桁)の月や日を2 桁で表示する状態に変更して みます。選択して[セルの書式設定]ダイアログの【表示形式】タブを出してください。



(02) [西暦 4 桁表示]は「yyyy」であらわします。[月 2 桁表示]は「mm」・[日 2 桁表示]は「dd」
 です。1 桁表示はそれぞれ「m」「d」となります。ここでは「ユーザー定義」の[種類]を「yyyy/mm/dd」として OK しましょう。



(03) C列の表示が、「西暦4桁/月2桁/日2桁」となりました。 さらに表示形式を変更します。「~生まれ」とする予定です。 選択したまま[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

C3	C3 • : × ✓ fx 1977/5/8								
	А	В	С	D	Е	F	G		
1									
2		名前	誕生日		6				
3		池田様	1977/05/08	_		C3:(C8 を	選	択して[セルの書式設定]【表示形式】
4		安川様	1993/12/31					. –	
5		沢様	2001/04/08						
6		野々村様	2019/10/04						
7		木村様	1965/01/24						
8									
9									

(04) 表示形式記号のあとに「"生まれ"」を付け OK しましょう。

表示形式 配置 7; 分類(<u>C</u>):	*** 罫線 「ユーザー定義」	の[種類]を	「yyyy/mm/dd"生まれ"」に変更
【	サンプル 1977/05/08生まれ 種類(T): Yyyy/mm/dd"生まれ" 0.00% 0.00E+00 ##0.0E+00 ##??? #??? #??? #??? ##;##0_0];(\$#;##0) \$#;##0.00_;(\$#;##0) \$#;##0.00_;(\$#;##0.00) \$#;##0.00_;(\$#;##0.00) [\$-ja-JP]ge.m.d [\$-ja-JP]ge.m]d [\$-	♪ ↓))	
	ОК	キャンセル	

(05) 修正が完了しました。列幅はその都度調整してください。

C3	-	: × 🗸	<i>f</i> _* 1977/5/8				
	А	В	С	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	1977/05/08生まれ				
4		安川様	1993/12/31生まれ				
5		沢様	2001/04/08生まれ				
6		野々村様	2019/10/04生まれ				
7		木村様	1965/01/24生まれ				
8							
9		1		⁄套			
10							

02章03節…元号と和暦年の書式記号

(01)「西暦4桁」の部分を「S52」のように「元号+和暦年」へと変更してみます。 選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

C3		• : × 🗸	<i>f</i> x 1977/5/8					
	А	В	С	D	E	F	G	
1								
2		名前	誕生日					
3		池田様	1977/05/08生まれ					
4		安川様	1993/12/31生まれ			יסייים) 2)	翌日して[トルの妻子:乳空]【主二形子】
5		沢様	2001/04/08生まれ			J3.UC	8 E I	豊欣し C[ゼルの 音丸 設 ル] 【 衣 小 形 丸 】
6		野々村様	2019/10/04生まれ					
7		木村様	1965/01/24生まれ					
8								
9				/扫				
10								

(02)「西暦4桁」は「yyyy」であらわしました。「S」「H」のような「アルファベットの元号 付き」は「g」であらわします。また「52」のような「和暦の年」は「e」であらわします。 強制2桁なら「ee」です。[種類]を「gee.mm.dd」にしてOK してください。

「/」は「.」に置き換えます。

セルの書式設定	? ×
表示形式 配置	フォント 罫線 塗りつぶし 保護
分類(<u>C</u>):	
標準 へ 数値 通貨	⁹⁰⁰⁰ s52.05.08
会計日付	種類(工):
時刻 パーセンテージ	lee.mm.dd
分数 指数	h:mm:ss h"時"mm"分"
又子列 2041 フーザー定美	^{h'等"mm'分"ss*秒"} yww/m/d h:mm 「.」は「"」で囲む必要のない記号
<u> </u>	^{mm:ss.0} ◎ (数式で利用される記号)
	yyyy"年"m"月"d"日" yyyy/mm/dd"生まれ" *
	削除(D)
基になる組み込みの表示	形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。
	OK キャンセル
)?) 和歴で	
20/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10	$\mathcal{T}_{\mathcal{T}}$
変更し	
C3 • : ×	<i>f</i> _s 1977/5/8
A B	C D E F G
2 名前	
池田様 安川様	H05.12.31
- 沢様 野々村様	H13.04.08 R01.10.04 C2.C8 を選択して「わルの書式設定」【表示形式】
木村様	540.01.24 C3.C6を送入して[C/レの首式設定]【扱ババノス】
3	
小の者式設定	
表示形式 配罢	コ+ント 戦線 涂わっぱ, //2時
分類(<u>C</u>):	
標準 数値	^{サンプル} 「ユーザー定義」の[種類]を「ggee.mm.dd」に変更
通貨 会計	相52.05.08 種類(T):
日付時刻	ggee.mm.dd
バーセンテージ 分数 生物	h:mm:ss h:mm:///
文字列	n ter mm 77 SS 79 yyyy/m/d h:mm mm:ss
ユーザー定義	mm:ss.0 @
	[h]:mm:ss @"様"
	yyyy"年"m"月"d"日" yyyyy/mm/dd"生まれ" yyyaymin dd"生まれ"
	gee.mm.dd V
~	削除(<u>D</u>)
基になる組み込みの表示	形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。
	OK キャンセル



(05) 元号の部分が1文字の漢字で表されました。今度は元号部に「ggg」を使ってみます。 [セルの書式設定]ダイアログを出してください。

C3	,	÷ : × v	f _* 1977/5/8							
	А	В	С	D	Е	F	G	н	1	
1										
2		名前	誕生日							
3		池田様	昭52.05.08							
4		安川様	平05.12.31							
5		沢様	平13.04.08		C	3.08	を選	択して	ペートル	の書式設定]【表示形式】
6		野々村様	令01.10.04			0.00	<u>د بح</u> :			
7		木村様	昭40.01.24							
8										
9				囱						
10										

(06)「ggg」を日付データに対して使うと、「平成」のような漢字2字の元号が表示されるよう になります。「gg」の部分を「ggg」に変更してください。

また「.」(の代わりに「年・月・	日」を入れ	てみます。
セルの書式設定		? ×	
表示形式 配置 フォント	罫線 塗りつぶし 保護		
分類(<u>C</u>): 標準 → サンブ 数値 サンブ	加一「ユーザー定義」	の[種類]を	「gggee"年"mm"月"dd"日"」に変更
 通貨 ・日 <l< td=""><td>]): =="年"mm"月"dd"日" 'mm"分"ss"秒" /m/d h:mm :ss :ss.0 nm:ss :""#"m"月"d"日" //mm/dd"生まれ" mm.dd :e.mm.dd</td><td>~</td><td></td></l<>]): =="年"mm"月"dd"日" 'mm"分"ss"秒" /m/d h:mm :ss :ss.0 nm:ss :""#"m"月"d"日" //mm/dd"生まれ" mm.dd :e.mm.dd	~	
基になる組み込みの表示形式を道	訳し、新しい表示形式を入力してください。	削除(<u>D</u>)	
(07) るまくいっ	~ た ト ふ 不 ナ	+7700	
(07) (07) (07) (07)			
C3 • : × ✓	<i>f</i> _* 1977/5/8		
A B	C D E	F G	
- 2 名前 3 池田様	誕生日 昭和52年05月08日		

4 安川様 平成05年12月31日 5 沢様 平成13年04月08日 6 野々村様 令和01年10月04日 7 木村様 昭和40年01月24日 8	<u> </u>	700 page 1/3%	HINROL 00000		
5 沢様 平成13年04月08日 6 野々村様 令和01年10月04日 7 木村様 昭和40年01月24日 8 9 10	4	安川様	平成05年12月31日		
6 野々村様 令和01年10月04日 7 木村様 昭和40年01月24日 8 9 10	5	沢様	平成13年04月08日		
7 木村様 昭和40年01月24日 8	6	野々村様	令和01年10月04日		
8 9 (E)	7	木村様	昭和40年01月24日		
9 (3) 10	8				
10	9			盨	
	10				

02章04節…曜日の書式記号

(01) C 列の日付セル群に「曜日」を表示させてみます。 選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

C3	•	• : × v	<i>f</i> ≠ 1977/5/8					
	А	В	С	D	E	F	G	
1								
2		名前	誕生日		(
3		池田様	昭和52年05月08日			セル (C3:(28 を選択してから
4		安川様	平成05年12月31日	~		г		
5		沢様	平成13年04月08日			セル(の書:	式設定 ヘ
6		野々村様	令和01年10月04日			L.		
7		木村様	昭和40年01月24日					
8								
9				<u>/</u>				
10								

(02) 曜日を表示させる書式記号は「aaa」です。「木」のように漢字 1 字で曜日が表示されま す。現在の日付データのあとで「(木)」のように表示させます。「(aaa)」を追加するので す。以下のように「種類」を変更してください。

セルの書式設定		? ×]
表示形式 配置 フォン 分類(C):	「ユーザー定義」	の[種類]を	「gggee"年"mm"月"dd"日"(aaa)」に変更
構築	シブル 習和52年05月08日(日) 頃(T): ggee"年"mm"月"dd"日"(aaa) yyy/m/d h:mm miss miss.0))))))))))))))))))))	
		OK キャンセル	

(03) 日付データのあとにカッコ付きで曜日を表示させることができました。 なお「日付」を表示させずに「曜日」だけを表示させることもできます。 選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

C3	~	• : × •	<i>f</i> ∞ 1977/5/8			
	А	В	С	D	E F	
1						
2		名前	誕生日			
3		池田様	昭和52年05月08日(日)			
4		安川様	平成05年12月31日(金)		00.00	ンボロレイレンのキージャント
5		沢様	平成13年04月08日(日)		C3:C8	5を選択し([セルの青丸設定]【表示形式】
6		野々村様	令和01年10月04日(金)			
7		木村様	昭和40年01月24日(日)			
8						
Q			•			

(04) [種類]を「(aaa)」だけにしてしまいましょう。日付データは隠れて見えなくなります。





(05) うまくいったようです。なお[日付]データは消えたわけではありません。 隠れているだけです。数式バーを見れば日付データが残っていることがわかります。 確認後は[元に戻す]ボタンで元の状態に戻し、和暦を含む日付・曜日データが表示されるようにしてください。

C3		• : × •	∕ <i>f</i> ∗ 1977/5/8	K	
1	A	В	С	D	曜日だけが表示されるが格納されている日付データは
2		名前	誕生日	-	
3		池田様	(日)		数式ハーで確認できる。確認後は[元に戻す]。
4		安川様	(金)		
5		沢様	(日)		
6		野々村様	(金)		
7		木村様	(日)		
8					
9				1	
10					

(06) 8 行目で名前と日付の入力テストをしてください。

日付は「yy/m/d」「ge/m/d」「ge.m.d」など様々な形式で入力できます。



C8		÷ ÷ × v	<i>f</i> _≪ 1952/11/9			
	А	В	С	D	Е	F
1						
2		名前	誕生日			
3		池田様	昭和52年05月08日(日))		
4		安川様	平成05年12月31日(金))		
5		沢様	平成13年04月08日(日))		
6		野々村様	令和01年10月04日(金))		
7		木村様	昭和40年01月24日(日))		
8		村山様	昭和27年11月09日(日)			
0						

02章05節…セルにコメント・メモを入れる

(01) [コメント]を使うとセルにメモ書きをすることができます。セルC4にコメントをしてみま す。アクティブにして【校閲】タブから[新しいコメント]をクリックしましょう。



(02) コメント枠が表示されます。枠内に「退会しました」と入力しましょう。

入力後は選択を解除します。

C4		• : × •	f _x	1		1. ⊐	メント	枠内に	「退	会し	ました	[ځ	と入力
	А	B	С	D	E		a 11		,	IX.	-		
1													
2		名前	誕生日										
3		池田様	昭和52年05月08日(日)	Cap2019-	PP				\건건 LF	1 - 107			
4		安川様	平成05年12月31日(金)	退会しまし	,た		ج (د	2.	選切	くを解	际		
5		沢様	平成13年04月08日(日)		•								
6		野々村様	令和01年10月04日(金)										
7		木村様	昭和40年01月24日(日)										
8		村山様	昭和27年11月09日(日)										
0													

(03) 選択を解除するとコメントは表示されなくなります。

ただしコメントが設定されているセルの右側に赤三角が表示されます。

G4	,	• : × 🗸	f _x			
	А	В	С	D	E	F G H I J K L
1						コメントがなるわルには去二色の
2		名前	誕生日			コメントがのるビルにはが二月の
3		池田様	昭和52年05月08日(日)	~		マークが丰子される
4		安川様	平成05年12月31日(金))		マーノル衣小CAIS
5		沢様	平成13年04月08日(日)			
6		野々村様	令和01年10月04日(金)			
7		木村様	昭和40年01月24日(日)			
8		村山様	昭和27年11月09日(日)			
9						
10						

(04) コメントが登録されているセル C4 にマウスポインターを合わせてみましょう。 セルにポインターを合わせると登録されているコメントが表示されます。

G4		- E × 、	fx											
	А	В		С	C4	にポー	インタ	'ーを	合わり	せると	ニコメ	ントた	が表	示される
2		名前		誕生日		6								
3		池田様	昭和	52年05月025(日)	Cap2019		1							
4		安川様	平成	05年12531日(金)	退会しま	した								
5		沢様	平成	13年04月08日(日)										
6		野々村様	令和	01年10月04日(金)										
7		木村様	昭和	40年01月24日(日)										
8		村山様	昭和:	27年11月09日(日)										
9														
00														

(05) なお[すべてのコメントの表示]をオンにすると、ポインターをはずしてもコメントが表示されるようになります。オンにしてみましょう。

	-			-		-						
🔒 🔊 d	÷=					Boo	oki - Exce	l				
ファイル ホーム	ム 挿入 ペー	-ジレイアウト 数式 データ	校閲	表示 ヘル	J Q ∄	記行したい作業で	を入力してくだる	έl·I				
ABC スペル 類義語 チェック 辞典 文章校正	アクセシビリティ チェック アクセシビリティ		■ 〔 〕 除 前へ	でし、 次へ マす スペレ	いたの表示/31 のイベメニのブグ	表示 表示 シー 保	日 の ブックの 道 保護 の	範囲の編集 ブ を許可する 有 呆護	ックの共 花解除 表	ンクを非 示にする インク		
G4	÷ ÷ × v	f _x			[すべ	てのこ	コメン	~ トの	表示]	を才	ンに
A	В	С	D	E	F	4		-			-	
1	々前	部件口										
2	石削	誕生日										
3	池田様	昭和52年05月08日(日)										
4	安川禄	平成05年12月31日(金)				,						
5	沢様	平成13年04月08日(日)										
6	野々村様	令和01年10月04日(金)					÷					
7	木村様	昭和40年01月24日(日)										
8	村山様	昭和27年11月09日(日)										
9												
(06) ボ	インタ	ーが無関係な	:場所	iにあ-	っても	ッコメ	ント:	が表え	示され	るよ	うに	なります
G4		ا <u>عد</u>	1. m	· +)	ユーギリ	~1	-	250	<u>+ در ۱</u>	_د_=	10 ×	++4+

G4	• : × •	ポ1	、ンターを	はずしても	、コメン	トは表示され	いたままとなる
A	В	C					
1							
2	名前	誕生日	K				
3	池田様	昭和52年05月08日(日)	cap2019-				
4	安川様	平成05年12月31日(金)	退会しました	ф			
5	沢様	平成13年04月08日(日)					
6	野々村様	令和01年10月04日(金)					
7	木村様	昭和40年01月24日(日)					
8	村山様	昭和27年11月09日(日)					
9							

02章06節…コメントを印刷対象とする

(01) [印刷プレビュー]しましょう。コメントは印刷対象となっていないことがわかります。 コメントを印刷させるには[ページ設定]ダイアログボックスから設定します。

		· · · · ·
€	日周	
☆ ホーム □ 新規	部数: 1 : 白印刷 白印刷	
 一一 情報 上書き保存 	プリンター 0 図 マロコの47054(1) ア ア ア ア ア 第 市 市 第 第 市 市 第 第 市 市 第 第 市 市 第 第 市 市 第 第 市 市 第 第 市 市 第 市 市 市 第 市 市 市	
名前を付けて保存	設定 作業中のシートを印刷 作業中のシートのみを印刷します	
印刷 共有	^{<->期注:} [印刷プレビュー]する(【ファイル】[印刷])。このままではコメント 「「 ^{」 片面IIII} ^(」 - 20) 「回の が印刷されないことがわかる。確認後は[ページ設定]。	
エクスポート 発行 別じる	I,2,3 1,2,3 1,2,3 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
アカウント フィードバック	▲ 4 2 L0X 29 / mm 21 cm x 29.7 cm 一 標準の余白 左: 1.78 cm 右: 1.78 cm □ 拡大線小なし □ 広大線小なし	
オプション		1 🛛
(00)		

(02)【シート】タブで[コメント]を「画面表示イメージ」にします。

この設定をするとコメントが印刷対象となるのです。

ページ設定	?	×]	
ページ 余白 ヘッダー/フッター シート				
印刷範囲(A):		Î		
日刷タイトル		Ť		
タイトル列(C):		Î		
		_		
□ 枠線(G) コメント(M): 画面表示イタ	-ÿ	\sim		
□ 白黒印刷(B) □ 簡易印刷(O) セルのエラー(E): 表示する		~	7	
□ 行列番号(上)				
ページの方向				
		タブ	で[コメント]を	「画面表示イメージ」に
	オプション	(<u>0</u>)		
ок	+ †	ッンセル		



(03) コメントが印刷対象となりました。確認後は印刷プレビューを閉じます。



02章07節…コメントの削除

(01) セル C4 にあるコメントを削除します。 選択して【校閲】タブにある[削除]ボタンをクリックしてください。

	5- ¢								Book1 - Exce	el .						
ファイル	ホ− Ŀ	挿入	ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示	∿r⁄ Ç	実行したいႷ	F業を入力してくだ	さい						
ABC く スペルレ チェック 文章#	類義語 辞典 ☆正	アクセシビリティ チェック アクセットリティ	スマート 検索 インサイト 言			ې ۸%	戸 コメントの表示/ つ すべてのコメント	「非表示 ・の表示	シートの ブックの 保護 保護	範囲の編集 を許可する 保護	ブックの共 有を解除	イン/応非 表示にする インク				
C4	*	: ×	√ <i>f</i> _x 19	93/12/31	•					1142						
	Α	В		С	D	2	【校問】	1 4	ブから	「別版	全ボ	タン	なり	11	ック	
1						⊿.	们又同时		115	שונכוןי	arlar,	/ /	~ /	9	//	J
2		名前	誕	生日												
3		池田様	昭和52年	05月08日(日)		_	_									
4		安川様	平成05年	12月31日(金)	退会しま	した										
5		沢様	平成13年	04月08日(日)												
6		野々村様	令和01年	10月04日(金)		_			i			-				
7		木村様	昭和40年	01月24日(日)		1.	コメン	ノトプ	がある	C4 3	を選れ	尺				
8		村山様	昭和27年	11月09日(日))	<u> </u>	<i>,</i> , ,			~ 1	<u> </u>					

(02) C4 にあったコメントが削除されました。[すべてのコメントの表示]はオフにしておいてく だ

さい。	完成後はこのファイ	ルを閉じましょ	う(必要に応じ	て保存)。
-----	-----------	---------	---------	-------

	А	В	С	D	E	F	G	н	1	
1								1		
2		名前	誕生日							
3		池田様	昭和52年05月08日(日)							
4		安川様	平成05年12月31日(金)		Г	1				
5		沢様	平成13年04月08日(日)			すべて	のコ	メン	トの表	〒 はオフにしておこう
6		野々村様	令和01年10月04日(金)					1		
7		木村様	昭和40年01月24日(日)							
8		村山様	昭和27年11月09日(日)							1
Q										

02章08節…まとめ

- ◆ 文字の位置をあらわす書式記号は半角の「@」です。
- ◆ 西暦4桁の年をあらわす書式記号は「yyyy」です。和暦元号においては「g」「gg」「ggg」の いずれかを用います。和暦の年の部分は「e」「ee」を用います。
- ◆ 月をあらわす書式記号は「m」「mm」・日をあらわす書式記号は「d」「dd」です。
- ◆ 曜日をあらわす書式記号は「aaa」です。
- セルには[コメント]を設定することができます。コメントの印刷は、オン/オフを切り替えられ ます。







7



7

02章10節…[参考資料]:表示形式記号一覧表

No.	対象		意味	例
1	数値	0	数字(0も表示)	0⇒0 1234⇒1234 1.1⇒1
2	数値	0.00	小数2桁まで表示	0⇒0.00 1234⇒1234.00 1.1⇒1.10
S	数値	000	数字(0も表示)	0⇒000 1234⇒1234 5⇒005
4	数値	#,##0	3桁区切りカンマ	1234⇒1,234
5	数値	#,##0,	百の位以下非表示	1234567⇒1,234
6	数値	#	数字(0は省略)	0⇒空白 1234⇒1234 1.1⇒1
7	数値	0%	倍率を%表記に	1.2⇒120% 0.06⇒6% 0.015⇒2%
8	数値	0.0%	小数1桁まで表示	1.2⇒120.0% 0.06⇒6.0% 0.015⇒1.5%
9	文字列	@	文字データ	Ш⇒Ш
10	日付	уу	西暦2桁	1957/12/06⇒57
11	日付	уууу	西暦4桁	1957/12/06⇒1957
12	日付	ge	和暦(H3)	1991/12/06⇒H3
13	日付	gge	和暦(平3)	1991/12/06⇒平3
14	日付	ggge	和暦(平成3)	1991/12/06⇒平成3
15	日付	gggee	和暦(平成03)	1991/12/06⇒平成03
16	日付	m	月1桁	2001/02/06⇒2
17	日付	mm	月2桁	2001/02/06⇒02
18	日付	d	日1桁	2001/01/06⇒6
19	日付	dd	日2桁	2001/01/06⇒06
20	日付	ааа	曜日	2001/11/30⇒金
21	日付	аааа	曜日(+曜日)	2001/11/30⇒金曜日
22	時刻	h	時刻1桁	04:06:03⇒4 26:43:08⇒02
23	時刻	hh	時刻2桁	04:06:03⇒04
24	時刻	[h]	24時間以上	26:43:08⇒26
25	時刻	m	分1桁	04:06:03⇒6
26	時刻	mm	分2桁	04:06:03⇒06
27	時刻	S	秒1桁	04:06:03⇒3
28	時刻	SS	秒2桁	04:06:03⇒03
29	分数	#/#	全てを分数	1.5⇒3/2
30	分数	#/4	分母を4に固定	1.5⇒6/4
31	分数	# #/#	带分数	1.5⇒1 1/2

文字データは「"」で囲みます。「1250」を「1,250人」と表示したい場合には

「#,##0"人"」とします。

◆ 半角の「%」を付けると小数値が100倍になった状態で表示されます。

◆ 半角の「+」「-」「/」「(」「)」「¥」「.」は、「"」で囲む必要はありません。

◆ Access の場合は「分」に"n"を使います。

第03章:ユーザー定義の表示形式:3(文字と時刻)

03章01節…文字データの作成.「」引用符の利用

(01))以	下のよう	な表を作	成しまし	ょう。			
	А	В	С	D	E	F	G	Ξ
1			-					
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井				
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6		2576	東	細田				
7			西	林				
8			西	平山				
9			西	和田				
10			西	斉藤				
11			•					

(02)続けてセル B7 に「0057」と入力します。

B7	-	· : ×	$\checkmark f_x$	0057					
	А	В	С	D	Е	F	G	Н	
1									
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		
3		1056	東	藤井					
4		5347	東	森					
5		7341	東	青木					
6		2576	東	細田					
7		0057	5	林					
8			西	半山					1.74
9			西	和田		$B1 \kappa$. 100	J57]	と入力
10			西	斉藤			l		1
11									

(03)しかし数値へ変換されてしまい「57」となってしまいます。一旦消去してください。

B7		: ×	$\checkmark f_x$	57				
	А	В	С	D	Е	F	G	н
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井				
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6	_	2576	東	細田				
7	i	57	E	**	I P	271+1	圳陉	
8			西	平山			11411	
9			西	和田				
10			西	斉藤				
11								

(04)数値変換されないようにするには、先頭に半角の引用符「'」を入力してからデータを入力 します。B7 に「'0057」と入力しましょう。「0057」が文字列扱いになります。

B7	-	· · ×	✓ f _x	'0057					
	А	В	С	D	Е	F	G	Н	
1									
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		
3		1056	東	藤井					
4		5347	東	森					
5		7341	東	青木					
6	_	2576	東	細田		B7 13	² ['O	0571	と入力
7		'0057	5 🧲	林			- 10		C/ (/)
8			西	平山					
9			西	和田					
10			西	斉藤					
11									



(05)「0057」が文字データとしてセルに格納されました。これは集計対象になりません。

B7	*	÷÷×	√ f _x	'0057					
	А	В	с	D	E	F	G	Н	
1				6.36				初期	期状態において[文字]データは左揃え、[数値・
2		セッケン 1056	ナーム名 車	名則 藤井	20km	100km	1500m		
4		5347	東	森				- 日1	可・時刻]アータは石囿えになる。
5		7341	東	青木				違い	いは隼計対象になるかならないか。
6		2576	東 	細田					
7	•	0057	<u> </u>	林				文	字 は、SUM などの集計関数の対象にならな
8			四 一	半山				,	
9 10			西	利出 文莲				_ く7	なるので汪意(足し昇などには利用可能)。
10			14	月腳					

03章02節…文字データ入力時に先に表示形式を設定しておく

(01)B8:B10 にも数値タイプの文字データを入力します。しかし都度「」を入力するのは面倒です。そこで事前に「文字列」の表示形式を設定します。すると数値タイプの値を入力した際に、文字データとして扱えるよう変換してくれるのです。 今回はB3:B10の範囲に対して「文字列」の設定をします。



(02) 設定後はセル B8 に「0191」と入力しましょう。「文字列」として入力されます。なお入 力後にアクティブにしてから数式バーを確認すれば「191」ではなく「0191」で値が格納 されたことがわかります。





(03)続けて B9 に「4842」、B10 に「0394」と入力しましょう。 さて、数値形式の文字列を入力すると注意が促されます。 そのままでもよいのですが、この表示を消すことも可能です。



(04)【ファイル】 タブから[オプション]の設定をします。



(05)【数式】[エラーチェック][バックグラウンドでエラーチェックを行う]のチェックか、[エラ ーチェックルール][文字列形式の数値、またはアポストロフィで始まる数値]のチェックを 解除すると注意表示がなくなります。今回はそのままにして画面を[キャンセル]しましょう。

Excel のオプション				?	×
全般数式	□ □ □ □ ↓ 力 数式の計算や処理、エラー処理に関するオプションを変	更します。			
データ	計算方法の設定				
文章校正 保存 言語 簡単操作 詳細設定	ブックの計算 ① ● 自動(A) ○ データテーブル以外自動(D) ○ 手動(M) ☑ ブックの保存前に再計算を行う(<u>W</u>) 	 □ 反復計算を行う(I) 最大反復回数(X): 100 ↓ 変化の最大値(C): 0.001 			
リボンのユーザー設定 クイック アクセス ツール バー アドイン セキュリティ センター	 3x10処理 □ R1C1 参照形式を使用する(<u>R</u>) ① ☑ 数式オートコンブリート(<u>E</u>) ① ☑ 数式でテーブル名を使用する(<u>I</u>) ☑ ビボットテーブル参照に GetPivotData 関数を使用する(<u>P</u>) 				
	エラー チェック	-のリゼット(<u>G)</u>			
	 エラー チェック ルール ✓ エラー結果となる数式を含むセル(<u>L</u>) ① ✓ テーブル内の矛盾した集計列の数式(<u>S</u>) ① ✓ 2 桁の年が含まれるセル(<u>Y</u>) ① ✓ 文字列形式の数値、またはアポストロフィで始まる数値(<u>H</u>) ② ✓ 領域内の他の数式と矛盾する数式(<u>N</u>) ③ 	 ✓ 領域内のセルを除いた数式(Q) ① ✓ 数式を含むロックされていないセル(<u>K</u>) ① □ 空白セルを参照する数式(<u>U</u>) ① ☑ テーブルに入力されたデータが無効(<u>V</u>) ① ☑ 誤解を招く数値の書式 ① 			T
			ОК	=====	121L



03章03節…時刻の表示形式1・時:分

(01) セル F3 に時刻データ「9:44(9 時間 44 分)」を入力します。 「時:分」の形式で入力します。「:」は半角で入力しましょう。

F3	Ŧ	: ×	✓ f _x	9:44					
	A	В	С	D	Е	F	G	н	
1									
2	-	ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		カルF3に半角で「0·11」を入力
3	1	.056	東	藤井		9:44	-		
4	5	347	東	森					
5	7	'341	東	青木					
6	2	2576	東	細田					
7	0	057	西	林					
8	0)191	西	平山					
9	4	842	西	和田					
10	0)394	西	斉藤					
11									

(02) 数式バーで F3 に格納した値を確認しましょう。「9:44:00」となっています。 自動的に「秒」の情報が「00 秒」扱いで格納されます。

F3	• ÷ ×	√ f _x	9:44:00			1	
A	В	С	D	E	F	G	あとで秒の情報を表示させることもできる。
1							その堪合け「表示形式」を調整する
2	ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	しい物口は「私川川北」で間走する。
3	1056	東	藤井		9:44		
4	5347	東	森				
5	7341	東	青木				
6	2576	東	細田				
7	0057	西	林				
8	0191	西	平山				
9	4842	西	和田				
10	0394	西	斉藤				
11							

(03) 続けて「14:18」「12:3」(12:03)と入力します。さらに「14:」と入力します。すると「14:00」 で取り扱われます。「時:」とすれば「分」を省略できるのです。

F6		• : X	$\checkmark f_x$	14:					
	А	В	С	D	Е	F	G	Н	
1									
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	(
3		1056	東	藤井		9:44			14.10
4		5347	東	森		14:18			[19.2]
5		7341	東	青木		12:03			112.0]
6		2576	東	細田		14:			「11・レスカ
7		0057	西	林					
8		0191	西	平山					
9		4842	西	和田					
10		0394	西	斉藤					
11									

(04) セル F6 は「14:00」となりました。続けて「17:25・9:33・15:15・9:55」と入力して ください。

F10		÷×	$\sqrt{-f_x}$	9:55:00					
	А	В	С	D	E	F	G	H	F17-951
1									117.20
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		[0.33]
3		1056	東	藤井		9:44			19.00]
4		5347	東	森		14:18			[15.15]
5		7341	東	青木		12:03			10.10
6		2576	東	細田		14:00			「ロ・ҕҕ」とえカ
7		0057	西	林		17:25	K		
8		0191	西	平山		9:33			
9		4842	西	和田		15:15			
10		0394	西	斉藤		9:55			
11									

03章04節…時刻の表示形式2・時:分:秒

(01)「秒」を省略しないのであれば「時:分:秒」の形式で入力します。 セル E3 に「1:35:14」と入力しましょう。

E3 .	· · ×	$\checkmark f_x$	1:35:14						
A	В	С	D	E	F	G		Н	
1									
2	ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m			
3	1056	東	藤井	1:35:14	-44			ヤ	ルE3に半角で「1·35·14」を入力
4	5347	東	森		14:18		I	<u> </u>	
5	7341	東	青木		12:03				
6	2576	東	細田		14:00				
7	0057	西	林		17:25				
8	0191	西	平山		9:33				
9	4842	西	和田		15:15				
10	0394	西	斉藤		9:55				

(02) 続けて以下のように入力しましょう。「A:B」とすれば「時:分」の表示ですが 「時:分:00秒」扱いとなります。「1:51」は「1:51:00」で扱われます。

表示形式はあとで統一できます。

									1	
E	10 .	÷÷×	$\sqrt{-f_x}$	1:37:01						1:35:14
	Α	В	С	D	E	F	G	Н		2:0:8
1		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m			1:51
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	1500111			2:15:36
4		5347	東	森	2:00:08	14:18				2.44.40
5		7341	東	青木	1:51	12:03				
6		2576	東	細田	2:15:36	14.00				1:54:56
7		0057	西	林	2:40:40	17:25				2:24
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33				4 27 4
9		4842	西	和田	2:24	15:15				1:37:1
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55				
11										

(03) E列とF列の表示形式を統一させます。

選択してから「時刻」の表示形式を適用してください。

5-	¢- ∓							Boo	k1 - E×	cel	
ファイル ホ	ーム挿入	ページレイア	ウト 数式	データ	校閲 表示	ネー ヘルプ	♀ 実行	らしたい作業を	入力してく	(ださい)	
ال ا	游ゴシック		• 11 • /	=	= = 🇞	· ₿ 折)返して全体を	表示する		$\overline{\mathbf{O}}$	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
貼り付け 👘	1.	E3:	F10	を選択	R	•三 🗄 セル	を結合して中語	央揃え ▼	(L) 123	標準 特定の形式なり	▲ テーブルとして セルの 書式設定 × スタイル ×
クリップボード						配置		r _a	12	数值	2911L
E3	• : ×	$\sqrt{-f_x}$	1:35:14						12	0 潘华	
A	В	С	D	E	F	G	Н	1		¥0	の東三形式な「吐却」と
1	1. starters a	T 1 4		201	1001	1500				会計 ¥0	2. 衣小形式を「時刻」に
3	1056	テーム名東	名則 藤井	1:35:14	100km 9:44	1500m				短い日付形式	
4	5347	東	森	2:00:08	14:18					1900/1/0	
5	7341	東	青木	1:51	12:03					1900年1月0日	
6	2576	東	細田	2:15:36	14:00					時刻	
7	0057	西	林	2:40:40	17:25				O	1:35:14	
8	0191	西	平山	1:54:56	9:33				%	ハーセンアーン	
9	4842	西	和田	2:24	15:15				/0	/%	
10	0394	西	斉藤	1:37:01	9:55				1/2	分数 0	
11											
12									102	7.E-02	v
13									Ę	の他の表示形式(<u>M</u>)	
14									L		



(04) 表示形式が「時:分:秒」に統一されました。続けてF列の表示形式を「時:分」に戻し ます。選択して表示形式の設定画面へ進んでください。

₽ 5 • € • =	Bool	k1 - Excel	
ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校開	週 表示 ヘルプ ♀ 実行したい作業を	入力してください	
・ ^{(Ctrl})+{1}なども使用	さ 折り返して全体を表示する 目 セルを結合して中央揃え ・		
クリップボード 🕫 フォント 📭	配置 。	1つ 数値 スタイル	
F3 - : × ✓ fx 9:44:00			
A B C D E	F G H I		
1		■ ☆ 2.1その他	の表示形式」へ
2 ゼッケン チーム名 名前 20km 1	00km 1500m	to the second se	
1 F2・F10 を選択	9:44:00	900/1/0	
	4:18:00 2:03:00	長い日付形式 1900年1月0日	
6 2576 東 細田 2:15:36 1	4:00:00	時刻	
7 0057 西 林 2:40:40 1	7:25:00	9:44:00	
8 0191 西 平山 1:54:56	9:33:00	0/ パーセンテージ	
9 4842 西 和田 2:24:00 1	5:15:00		
10 0394 西 斉藤 1:37:01	9:55:00	1/2 2/5	
11			
12		10 ⁻ 4.E-01	
13		その他の表示形式(<u>M</u>)	
(05) [時刻] 13:30] の形式を	を選択してOKしる	ましょう。	



(06)「時:分:秒」以外の表示形式は[セルの書式設定・表示形式]で設定するのです。

F3	-	÷×	$\checkmark f_x$	9:44:00				
	А	В	С	D	E	F	G	Н
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44		
4		5347	東	森	2:00:08	14:18		
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03		
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00		
7		0057	西	林	2:40:40	17:25		
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33		
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15		
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55		
11								



03章05節…時刻のユーザー定義表示形式・分:秒

(01) G 列には「分と秒」だけを入力します。その場合は「時」に「0」を指定する必要があり ます。G3 に半角で「0:6:44」を入力しましょう。

G3	-	r : X	✓ f _x	0:6:44					
	А	В	С	D	E	F	G	Н	G3に半角で「0.6.44」を入力
1									
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:6:44		
4		5347	東	森	2:00:08	14:18			
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03			
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00			
7		0057	西	林	2:40:40	17:25			「時・分」は省略できない
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33		Ļ	
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15			
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55			
1.1									1

(02)「分・秒」には「2 桁」の表示形式が適用されます。続けて「0:8:0」と入力しましょう。 自動的に「00 秒」の表示形式が適用されます。

G4	• : X	$\checkmark f_x$	0:8:0					
Α	В	С	D	Е	F	G	н	
1								G4 に半角で「0·8·0」を入力
2	ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		
3	1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:06:44	K	
4	5347	東	森	2:00:08	14:18	0:8:0		
5	7341	東	青木	1:51:00	12:03			
6	2576	東	細田	2:15:36	14:00			
7	0057	西	林	2:40:40	17:25		L0.8	と、「秒」を省略した状態で入力してから。
8	0191	西	平山	1:54:56	9:33		10.0	
9	4842	西	和田	2:24:00	15:15		後で	表示形式を変更してもよい
LO	0394	西	斉藤	1:37:01	9:55			
								1

(03)「1500m」における残りの時間情報を入力してください。

01	10 .	: ×	1 fr	0.06.49					1.	
G	10		- JA	0.00.40						0:6:44
	A	B	С	D	E	F	G	Н		0:8:0
1		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m			0:7:20
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:06:44			0:9:55
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	0:08:00			0:11:8
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	0:07:20			0.7.55
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	0:09:55			0.7.55
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	0:11:08		1	0:9:42
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	0:07:55			0:6:49
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	0:09:42		'	
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55	0:06:49			
11										
10										

(04) ここで「時」の部分を非表示にします。選択して表示形式の設定画面へ進んでください。

G3	•	: ×	$\sqrt{-f_x}$	0:06:44							
	А	В	С	D	Е	F	G	н			
1										1	119.110 た遅归
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m			L.	口2.010 を選び
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:06:44		_		
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	0:08:00				
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	0:07:20				
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	0:09:55	K			
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	0:11:08				
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	0:07:55		9)	丰 二形式 32 字 両 面 4
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	0:09:42		2	•	农小形以設足回面、
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55	0:06:49				
11										J	



(05) [表示形式]を「時刻→ユーザー定義」に変更して[種類]を確認してください。

時は「h」、分は「m」、秒は「s」です。常時2桁表示させる場合は記号を重ねます。半角

の「:」は時刻を分ける記号であり、「"」で囲む必要はありません。



(07)「時」の情報が非表示になりました。ただし数式バーから「時」の情報が確認できます。

G3	3 -	÷÷×	√ fx 0:06:44							
	А	В	С	D	Е	F	G	Н		
1										
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m			
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	06:44			
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	08:00			
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	07:20			
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	09:55			
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	11:08			
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	07:55			
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	09:42			
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55	06:49			
11										



(08) 練習です。G 列の時刻が「06 分 44 秒」のように表示されるよう設定してください。

G3	3 •	: ×	\checkmark f_x	0:06:44				
	А	В	С	D	Е	F	G	Н
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	06分44秒	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	08分00秒	
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	07分20秒	
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	09分55秒	
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	11分08秒	
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	07分55秒	
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	09分42秒	
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55	06分49秒	
11								

2ルの書式設定				?	×
表示形式 配置	フォント 罫線	塗りつぶし	呆護		
分類(<u>C</u>): 標準 数 値 道 合 計 七 ン テ - ジ う 数 指数 文 マ の 他 こ 合 計 し 日 時刻 パーセンテージ う 数 指数 文 マ の他 し 、 る 計 し 日 時刻 パーセンテージ う の 低 し 、 る 計 し 日 う 数 、 名 日 、 一 む し う む 、 、 の し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し 、 う む し う つ 、 つ し う つ し う つ う う か う 、 し う つ し う つ う う か う む こ う こ う む 、 う つ し う つ う つ う つ む こ つ こ つ ジ う う つ し う つ こ つ こ つ い う こ し こ つ い う こ つ こ つ い う い し こ つ こ つ い う い し こ つ こ つ い つ い こ つ こ つ い つ こ つ い う い し こ つ こ つ い つ こ つ い つ し つ こ つ い つ こ つ こ つ い う つ い つ い つ こ つ い つ い つ つ い つ つ つ つ つ つ つ つ つ こ つ い つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	サンプル 06分44秒 種類(工): mm"分"ss"秒" h:mm:ss AM/F h:mm h:mm:ss AM/F h:mg"mm"分"s yyyy/m/d h:m mm:ss.0 @ [h]:mm:ss [\$-x-systime]t h:mm;@	が で m h:mm:ss AM/Pi	Μ		^
基になる組み込みの表示	」 形式を選択し、新しい	い表示形式を入力	してください。		
			OK	キヤン	UL

03章06節…24時間・60分・60秒を超える表示

(01) 引き続き時刻に関する表示形式を学習します。「100km」走における「東チーム/西チーム」内の各4名の合計タイムを「小計」機能を使って集計します。

リスト内をアクティブにして【データ】[小計]を使いましょう。

E 5- 0								Book1	- Excel						# 1	いイン	Ť	-	đ	×
ファイル ホーム	挿入	ページ レイア	ウト 数式	データ	校閲 表示	〒 へルプ	♀ ♀ 実行	Fしたい作業を入	力してください										Я	共有
	、または CSV か から	いら 🔓 最近(使ったソース の接続		エリと接続 「ロパティ			く クリア 12 再適用	区切り位置	III フラッシュ フ	7イル 目+= 除 ==音	統合 リレーションシ	ップ	What-If 分	析予測	→ 	- プ グル−	- ● ■ ・ 小計		
取得 - 111 テーブル	r-9	リ	ストロ	内をア	クテ	ィブに	Z nus	▶ 詳細設定 9		≓ データの入 デ	力規則 → 頤 [*] −タツ−ル	データ モデル	の管理	· 予	シート 則	化	 解除 アウトラ 	1>	5	^
C2 •	: ×	$\sqrt{-f_x}$	チームキ	ž																~
A A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	М	2.	【デ	ータ	'] [小計	 1	R	
2	ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m							<u> </u>			- 1)	
3 1	1056	東	藤井	1:35:14	9:44	06分44秒														
4 5	5347]	東	森	2:00:08	14:18	08分00秒		Γ=	チーム	畄⇔	不自	≣≣+ a	- Z #	き しょう	717					
5 7	7341]	東	青木	1:51:00	12:03	07分20秒			$-\Delta$	中世.			0		-10					
6 2	2576	東	細田	2:15:36	14:00	09分55秒		Γ=	チーム	名 3	をキー	- 21	、てす	もべき	キラ っ	らゞ				
7	0057 1	西	林	2:40:40	17:25	11分08秒			4					ዾ፞፞		J .				
8 0	0191	西	平山	1:54:56	9:33	07分55秒		二二	アレブ	ていた	alth	ばな	らな	610						
9 4	4842 ī	西	和田	2:24:00	15:15	09分42秒			10		~ ~ ~ ~ ~	10.0		• •0						
10 0	0394 ī	西	斉藤	1:37:01	9:55	06分49秒		こ	の表は	は並へ	、替え	が完	了し	てい	る。					
10																				

(02) チーム単位で集計します。[グループの基準]は「チーム名」、[集計するフィールド]は「100km」 「合計」として OK しましょう。



(03)「東 集計・西 集計・総計」のように集計欄は作成されましたが、適切な表示とはなってい ません。「24 時間」を超えた集計部分において不適切な表示が発生しています。Excel の 標準設定では「50 時間」が「24 時間×2 日と 2 時間」に分離され、その「2 時間・2:00」 しか表示されないのです。24 時間でカウンターが1 周してしまうのです。24 時間後も引 き続き表示させるには表示形式の調整が必要となります。



(04) 集計値が「50 時間 05 分」となるようにします。

ユーザー定義の表示形式を「[h]"時間"mm"分"」としましょう。

「h」を半角の大カッコ[]で囲むと24時間を超えてもリセットされません。

セルの書式設定	? ×	
表示形式 配置 フォント 罫線	塗りつぶし 保護	
分類(<u>C</u>):		
標準 数値 通貨 サンプル 9時間44分	ユーザー定義の	D表示形式「[h]"時間"mm"分"」を指定
会計 日付 時刻 [h]"時間"mm"5)"	
パーセンテージ 分数 指数 ト:mm h:mm:ss h"時"mm"分"	^	
文字列 この他 ユーザー定義 文字列 ト"時"mm"分"ss yyyy/m/d h:m	"秒" n	
mm:ss.0 @		
「m/s」も「[m],	/[s]」とすれば 60 分/6() 秒を超えた表示ができる
11111 73 33 49	*	
~	削除(<u>D</u>)	
基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい	表示形式を入力してください。	
	OK キャンセル	

(05) 24 時間を超えた時間情報の集計値が適切に表示されました(必要に応じて幅を調整)。 完成後はこのファイルを閉じましょう(必要に応じて保存)。

F3	3		Ŧ	: ×	$\checkmark f_x$	9:44:00							
1	2	3		А	В	С	D	E	F	G	Н	I.	
			1										_
			2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m			
Γ	Γ	•	3		1056	東	藤井	1:35:14	9時間44分	06分44秒			
		•	4		5347	東	森	2:00:08	14時間18分	08分00秒			
			5		7341	東	青木	1:51:00	12時間03分	07分20秒			
			6		2576	東	笛田	2:15:36	14時間00分	09分55秒			
	-		7			東 集計			50時間05分				
	Γ	•	8		0057	西	林	2:40:40	17時間25分	11分08秒			
		•	9		0191	西	平山	1:54:56	9時間33分	07分55秒			
			10		4842	西	和田	2:24:00	15時間15分	09分42秒			
			11		0394	西	斉藤	1:37:01	9時間55分	06分49秒			
	-		12			西 集計			52時間08分				
-			13			総計			102時間13分				
			14							/書			
			15										

03章07節…まとめ

- ◆数値を文字として入力する場合には、先頭に「」を入力しておきます。あるいは「文字列」の 表示形式を設定しておきます。
- ◆ ユーザー定義の表示形式において「時」は「h」、「分」は「m」、「秒」は「s」で指定します。 常時 2 桁表示させるならば記号を 2 つ重ねます。1 秒以下の時間は「.00」のように指定しま す。24 時以降の時を表示させるには「[h]」とします。

03章08節…練習問題

①) 問題

(01)PC で円周率計算をさせた際の結果表です。400~1000 万桁の場合は秒まで管理していません。

F

		•••								
	Α	В	С	D	E	-	F			
1										
2		CPU	100万桁	400万	桁 1000)万桁				
3		DP-101	3:13:39	12:	52 3	32:11				
4		DL-007	0:37:08	2:	28	6:10				
5		TS-95	0:13:00	0:	53	2:13				
6		TY-807	1:05:46	4:	23 1	0:57				
7										
(02)	さ	らに表示	形式を変	更しま	しょう。					
	А	В	С		D			Ε		
1										
2		CPU	100万	淅	400万	桁	10	00万	淅	
З		DP-101	3時間133	分39秒	12時間	52分	328	時間′	l 15	Ì
4		DL-007	0時間373	分08秒	2時間2	28分	6	時間′	10ታ)
5		TS-95	0時間133	分00秒	0時間	53分	28	時間	I 3分)
6		TY-807	1時間053	分46秒	4時間2	23分	10	時間	575.)
7										
(03)	C	列を分/種	沙単位にし	<i>、</i> ます。)					
	А	В	С		D		Ε		F	
1										
2		CPU	100万桁	4(00万桁	10	00万	祈		
З		DP-101	193分39	秒 12	時間52分	328	邿[1	1分		
4		DL-007	37分08	秒 21	時間28分	68	邿[]1	0分		
5		TS-95	13分00	秒 0I	時間53分	28	邿[1	3分		
6		TY-807	65分46	利 4	4時間23分		朝日	57分		

7



②)問題・・・以下のような表を作成しましょう。

	А	В	С	D	E	F	G	Н
1								
2		色	白	黒	深緑	紺	ピンク	
3		色番号	FFFFFF	000000	006633	003366	FF0099	
4								-

③) 問題…

以下のような計算表を作成してください。5人の選手が長距離走のタイムを計りました。

	А	В	С	D	E	F
1						
2		順位	選手番号	クラス	タイム	
3		1	8-46	3-8	2時間18分15秒	
4		2	2-17	3-2	2時間24分27秒	
5		3	5-36	3-5	2時間31分11秒	
6		4	11-4	3-11	2時間55分17秒	
7		5	6-8	3-6	3時間01分02秒	
8						
9				平均	2時間38分02秒	
10						

④) 問題…

以下のような計算表を作成してください。8/1~8/7の勤務時間計算表です。

	А	В	С	D	E	F
1						
2		日付	出勤時刻	退勤時刻	勤務時間	
3		2019/08/01(木)	7:54	18:07	10時間13分	
4		2019/08/02(金)	7:41	18:38	10時間57分	
5		2019/08/05(月)	7:45	17:19	9時間34分	
6		2019/08/06(火)	8:02	19:26	11時間24分	
7		2019/08/07(水)	8:34	19:08	10時間34分	
8						_
9		勤務日数	5	勤務時間合計	52時間42分	
10						



第04章:複数の論理式-AND 関数・OR 関数

04章01節…論理式と IF 関数の復習と確認

(01)) []	人下のよ	うな表	を作成	戉しまし	しょう。	9 行目	には A	VERA	.GE 関数	数を使っ	っていま	す。
	А	В	С	D	E	F	G	Н		J	K	L	М
1													
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B	
3		相沢	46	68	73								
4		井上	69	69	33								
5		佐々木	74	77	57								
6		田辺	52	68	27								
7		細川	61	62	63								
8		山崎	61	73	62								
9		平均	60.5	69.5	52.5								
10								-	-		-		

(02) 論理式の復習です。[英語]の点数が 70 より大きい場合に F3 へ「TRUE」が表示される ようにします。F3 に「=D3>70」の式を作成してください。

OR B C D E F G Н 1 J Κ М 判断1A 判断2A 判断3A 判断4A 判断1B 判断2B 判断4B 2 名前 国語 英語 数学 3 相沢 46 68 7<mark>3</mark> =D3>70 井上 69 69 F3 に「=D3>70」の式を作成 77 5 佐々木 74 57 6 田辺 52 68 27 61 細川 62 63 山崎 61 73 62 8 平均 60.5 69.5 52.5

(03) F3 の式を F8 までコピーしてください。

F3		• : ×	$\checkmark f_x$	=D3>7	0								
	А	В	С	D	Е	F	G	н	1	J	K	L	M
1													
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B	
3		相沢	46	68	73	FALSE							
4		井上	69	69	33	FALSE	~		F 3	のず	たF	2 = 7	ジョレー
5		佐々木	74	77	57	TRUE			1.9		- T (2 2 6	
6		田辺	52	68	27	FALSE							
7		細川	61	62	63	FALSE							
8		山崎	61	73	62	TRUE	Ĩ						
9		平均	60.5	69.5	52.5								
10													

(04) [論理式]とは、正しければ「TRUE」が、誤っていれば「FALSE」が返る計算式でした。 「IF 関数」は「TRUE/FALSE」の代わりに返す値を別途指定できる計算式でした。 IF 関数の復習をします。今度は[英語]の点数が 70 より大きい場合に J3 へ「○」が表示 されるようにします。J3 で関数の作成を開始してください。

J3		÷×	~	f_{x}											
	А	В	С		D	Е	F	G	Н	1	J	К	L	М	
1				Т											
2		名前	国語	Г	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B		
3		相沢		46	68	73	FALSE								
4		井上		69	69	33	FALSE								
5		佐々木		ге			1.24.24						1	.13 を	アクティブに
6		田辺	2.		関数())挿人	をク	リック	7					00 27	
7		細川		-	1	1		1							
8		山崎		61	73	62	TRUE								
9		平均	6	60.5	69.5	52.5									
10															

(05) [関数の分類]を「すべて表示」にして「IF」関数を選択してください。



(06) 引数[論理式]には「D3>70」を指定します。先頭の「=」は入れません。続けて引数[値が 真の場合]を「"○"」とします。この引数へは「TRUE」の代わりに返す値を指定します。 「"」は文字列を囲む引用符です。引数[値が偽の場合]は「"×"」としましょう。この引数へ は「FALSE」の代わりに返す値を指定します。設定後は OK します。



(07) J3 の式を J8 までコピーしましょう。IF 関数を用いれば、論理式の真偽に応じた値を指 定できるのでした。ここまでは復習事項です。

J3	,	÷×	$\checkmark f_x$	=IF(D3	>70,"〇","	× ")									
	А	В	С	D	Е	F	G	н	1	J	К	L	М		
1															
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B			
3		相沢	46	68	73	FALSE				×					
4		井上	69	69	33	FALSE				×			~ <u>-</u>	20	10 2
5		佐々木	74	77	57	TRUE				0		J3	の式	Ð	J8までコピー
6		田辺	52	68	27	FALSE				×	~		1		
7		細川	61	62	63	FALSE				×					
8		山崎	61	73	62	TRUE				0	1				
9		平均	60.5	69.5	52.5						.				
10															



04章02節…AND 関数の使用

(01) G 列には国語も英語も数学も 60 より大きい場合のみ TRUE と表示させます。 しかし「C3~E3>60」のような論理式は使用できません。「C3>60」「D3>60」「E3>60」 とひとつずつ比較評価する必要があります。複数の論理式を結合する際には「AND 関数」 を使います。AND 関数は論理式の指定の前に使います。G3 をアクティブにして[関数の 挿入]をクリックしてください。



(03) 引数[論理式 1][論理式 2][論理式 3…]欄に結合したい論理式を入力します。この中では先 頭の「=」をセットしません(左辺・比較演算子・右辺、のみ)。最初に[論理式 1]欄で「C3>60」 を作成してください。セル参照「C3」の指定はクリックでおこないます。OK はしません。

C3	• : X	✓ f _x	=AND(C3>60)			
A	В	С	D	E	F	G	- 関数の引数 ? × P
1							AND
2	名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	1978-71 C3>60
3	相沢	46	68	73	FALSE	>60)	
4	井上	69	69	33	FALSE		* 論理式2 <u>エ</u> = 論理
5	佐々木	74	77	57	TRUE		
6	田辺	52	68	27	FALSE		
7	細川	61		62	EALOE		
8	山崎	61		[論理	式 1]	欄に言	論理式「(-2>60」を作成 ₅
9	平均	60.5		ᆸᄪᆇᆂ			
10							論理式1: 論理式1,論理式2, には結果が TRUE または FALSE になる、1 ~ 255 個
11							の論理式を指定できます。引数には論理値、配列、または参照を指定します。
12							
13							数式の結果 = FALSE
14							この思数のヘルブ(日)
15							

(04) 続けて[論理式 2]欄には「D3>60」・[論理式 3]欄には「E3>60」という論理式を作成して ください。AND 関数は[論理式 1~3]がすべて「TRUE」の場合のみに「TRUE」を結果 として返す関数です。完成後は数式バーを確認して OK してください。

G3		- : x	✓ f _x	=AND(C3>60,D3	>60,E3>6	60)		「論理式 1~3]がすべて「TRUE」

	А	В	С	D	E	F	G	関数の引数	の埋今のみに「TDIIF」とわる
1								AND	
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	☆理式1 C3>60	
3		相沢	46	68	73	FALSE	0.F3>60)	3H97101 C2>00	
-			60	60	22	EALCE	-,,	· 論理式2 D3>60	± = TRUE
4		# 1	09	09	33	FALSE		論理式3 E3>60	◆ = TRUE
5		佐々木	74	77	57	TRUE		BIN-TAKO TAK AN	
6		田辺	52	68	27	FALSE		論理式4	
7		細川	61	62	63	FALSE			
8		山崎	61	73	62	TRUE			= FALSE
9		平均	60.5	69.5	52.5			すべての引数が TRUE のとき、TRUE を返します。	
10		C=AT				50	<u> </u>		侖理式2,には結果がTRUEまたはFALSEになる、1 ~ 255 個
11		論:	埋 式:	乙儞に	こば I	D3>	60J•	論埋式 3 欄には	指定できます。引数には論理値、配列、または参照を指定します。
11		L .		-			_	L J	
12		[፲፱?	2260	1 11	いろ話	上町4	、 た 作 F	t	
13		1 Lie	J~ 00		(・ノロ	#上土	C IF/4	A.	
14								この明教のヘルプ(日)	OK \$17/1711
15									

(05) G3 の式を G8 までコピーしましょう。AND 関数を用いれば、指定した複数の論理式が すべて満たされる場合のみ「TRUE」を表示させる、という式を作成できるのです。

G3 • : × • f* = AND(C3>60,D3>60,E3>60)														
	А	В	С	D	Е	F	G	Н	I.	J	K	L	М	
1														
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B		
3		相沢	46	68	73	FALSE	FALSE			I	1			
4		井上	69	69	33	FALSE	FALSE	•		G3 Ø)式を	G8 3	までコヒ	^°
5		佐々木	74	. 77	57	TRUE	FALSE	K						
6		田辺	52	68	27	FALSE	FALSE			×				
7		細川	61	62	63	FALSE	TRUE			×				
8		山崎	61	73	62	TRUE	TRUE	ľ		0				
9		平均	60.5	69.5	52.5			.						
10														

(06) さて練習です。全科目が各[平均]を上回る場合のみ H 列に TRUE と表示させます。H3 を アクティブにして[関数の挿入]をクリックしてください。



(07) AND 関数を選択します。[論理式 1]には「C3>C9」(46>60.5)を設定します。ただし式 を下にコピーすることを考えて C9 は絶対参照しておきます。「\$C\$9」でも「C\$9」でも どちらでもかまいません。



